

和やかな入学式でした

4月9日(火)、入学式を挙行了しました。式辞の中で一人ずつ名前を呼んだのですが、「はい」と手を挙げて起立する姿に、思わず頬が緩んでしまいました。「さらに賢く優しくなってほしい」、「笑顔や行動で地域を元気にしてほしい」、と想いを伝えました。

式の後、下校時に「さようなら、また明日」と声をかけると、ものすごく元気にそしてにこやかに「さようなら!」と返してくれました。この笑顔を守っていかなくてはと、想いを強くしました。

お忙しい中ご出席いただいた来賓の皆様、保護者の皆様、ありがとうございました。



全校写真を撮りました

4月10日(水)校庭にて。みんないい顔です。



委員会活動、今年も頑張ります

今年度から、朝の時間をきちんと区切り、7:50~8:05の15分間を委員会活動（低学年は学活）の時間として設定しました。各委員会が学校生活のために必要な仕事や、学校をさらによくするための活動をしています。委員会活動を活性化することで、様々な経験と知識、そして有用得ることができると考えています。

4月11日（木）の身体測定では、保健委員の児童がみんなの前で測定の方法を説明しました。保健委員の児童は事前に準備をし、朝からリハーサルをしてこの時間に備えました。説明時には、少しでもわかりやすいようにと、みんなに見せるための紙を用意したり、実際にやって見せたりして、とてもよく頑張りました。

しかし、本校の児童ならもっとできると私は信じています。ふりかえりをし、次の機会では今回よりも上手にできるよう、自分や集団を高めていってほしいです。



全国学力学習状況調査を実施しました

4月18日（木）、全国の小学6年生が国語と算数の同じ問題に挑みました。最近の問題は、一問一答式ではありません。長文を読み、絵や表やグラフを読み取り、必要な情報を取捨選択し、自分の言葉で説明しなくてはなりません。学年が上がるにつれ、その傾向は顕著になります。問題例を挙げてみます。（令和5年度全国学力学習状況調査問題より）

これは国語ではなく算数のテストです。計算をする前に、読解力がなければ、そこで止まってしまいます。普段から、文章に触れる機会をもつことがとても重要です。

しかし、読書量と読解力には相関性が見られないことがわかっています。つまり、本を読むだけでは読解力が身につかないのです。必要なのは、インプットとアウトプットをセット行うことです。例えば、本を読んだら（インプット）、その本がどのような内容であったのかを口頭で説明したり、文章を書いたり（アウトプット）するのです。本にこだわる必要はありません。YouTubeなどの映像や漫画でもかまいません。「どう思う?」「何がわかった?」等尋ね、アウトプットをさせてください。

その際気をつけることは、答えをじっくり待つこと、そして評価をきちんとしてあげることです。論理的な（感情的にならない）正しい評価は、次への意欲を生みます。ご家庭での日々の気遣いで、学力は向上していきます。

(2) はるまさんたちは、いすの数と高さの関係について考えています。

いすの数(きゃく)	1	2	3	4	5
高さ (cm)	45	51	57	63	A



はるま

高さはいすの数に比例しているのでしょうか。



ゆうな

いすの数が2倍になっても、高さは2倍になっていないので、高さはいすの数に比例していません。

「いすの数が2倍になっても、高さは2倍になっていない」ことを、表の中の数を使うと、次のように説明することができます。

いすの数が きゃくから きゃくと2倍になっても、高さは cmから cmで2倍になっていません。

上の㉗、㉘、㉙、㉚にあてはまる数を、表の中の数から1つずつ選んで、書きましょう。